

菊池 吉浩

株式会社 ACDC 代表取締役

昭和 37 年（1962）、桑折町生まれ。
大学卒業後、愛知県のゼネコンでエンジニアをしていたが、
父が病に倒れたため 30 歳で帰郷、家業を継ぐ。2003 年に社長就任。
電気工事の他、再生可能エネルギーに広く関わる。

「地域の電気は遠くの人に委ねられている」。これまでの電気は大手の電力会社が供給していて、電力会社の電力系統が止まると使えなくなります。
当社は、電気工事のプロフェッショナルとして、地域に関わってきましたので、東日本大震災の後は停電や漏電で大忙しに。そのような時「自宅に太陽光発電があるのに電気が使えない」という声が聞こえました。太陽光発電の電気は直流なので、安定した電圧・周波数で交流出力するにはパワコンでの調整が必要ですが、当時は売電が主流で、蓄電し安定的に使う発想もありませんでした。
そこで当社は、太陽光発電と蓄電システム、電気自動車による「電気の自給自足システム」の開発に取り組み、2018 年に完成させました。
現在、このシステムで伊達支社の電気をまかなっています。
今すぐ再生可能エネルギー 100% は無理でも、小規模な事業所や個人ができることを実践すれば比率は上がります。
2020 年には、熱効率が高い薪ストーブの販売も始めました。
木質燃料を使い循環型社会や森林の荒廃という地域課題解消にも取り組みます。
これからの「スマートコミュニティ」は、自分たちで再生可能エネルギーを作り、蓄え、賢く使う人がつながることで実現できるはずです。



森林の手入れで出来る薪を活用。新たに木を植え
長いスパンでの二酸化炭素削減を目指す